

JAPANESE DIVISION OF THE INTERNATIONAL
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

1978—II

部 会 報

May

I 1978年度 IADR 総会理事会報告

第56回 IADR(1978年)の Council Meetingは3月14日(火) Washington Hilton Hotel, Map Roomにおいて, President George S. Beagrie の司会で開かれ, 日本部会からは代表として大西正男・河村洋二郎両理事が出席した。主な審議報告事項は下の通りである。

1. 会務関係

(1) 本年度の新役員は下のよう決定した。

President	Finn Brudevold
Vice-President	J.A. Gray
President-Elect	H.A. Loe
Executive-Director	D.B. Green
Board of Director	{ Stoppelar 河村 洋二郎
Assistant Secretary-Treasurer	J.P. Waterhouse
Secretary	J.W. Hein
Editor	B.M. Levy

で行なわれる。

- (2) 事務に混乱があったが, それは2人の Secretary がそれぞれ病欠と辞職をしたためであった。
- (3) Chicago の現事務所は狭いので, 近く Washington 市に移転する。
- (4) Group member の会費を今後本部から徴収する。
- (5) By-law の一部が下のよう改正された。
Life-member は65才以上で25年以上会員であったことを条件とする。
(会費のみ不要となる)
- (6) 会計は赤字である。

(7) 次期副会長候補は下の通りである。

I.R.H. Kramer (U.K)

N. Nylen (U.S.A)

M. Shear (S.Africa)

2. 学会関係

(1) 1979年 IADR 総会 New Orleans 3月29日～4月1日

1980年 大阪 6月5, 6, 7, 8日

Local Arrangement Committee の Chairman は河村教授

1981年 Chicago

1983年 Sydney

1986年 Israel か European 部会

(2) I C O B

1980年 総会 東京 6月1, 2, 3日

Local Arrangement Committee の Chairman は大西教授

主題: Oral Disease Prevention, its Implication and Application.

(3) 海外支部からの出題者に、出席のないものがあることが指摘された。

(4) 今回の提出 abstract 総数は、1193で、そのうち124は海外からのものであった。86題が read by title, 203題が Poster Session で、その他拒否されたもの70題がある。

3. Award 関係

本年度の IADR Science Awards 受賞者は下のごとく決定した。

Isaac Schour Memorial Award

A. Richard Ten Cate

H. Trendley Dean Memorial Award

Sidney B. Finn

Research in Biological Mineralization Award

Aaron S. Posner

Research in Oral Science Award

Atthur R. Hand

Research in Periodontal Disease Award

Sigmund Socransky

Research in Prosthodontics Award

Algirdes A. Yurkstas

Research in Oral Therapeutics Award

Sidney B. Finn

Research in Dental Caries Award

Basil G. Bibby

Edward H. Hatton Award

佐藤 誠 (Post-Doctoral 級で一位)

学生に対する Johnson and Johnson grant は打切られ、代りに今年は Wrigley grant が Predoctoral Student に出された。

4. International Relationship 関係

FDI 及び WHO との関係が強くなった。

5. 雑誌関係

J. Dent. Res. 発行の遅延は編集長の病気のためである。
学会出題数に比べて雑誌投稿論文が少ないことが指摘された。

6. 新しい Group の申出

Oral mucosa と Oral surgery group の新設の提言があった。

II IADR 1980 大阪総会について

1. 1980 年日本で開催される第58回国際歯科研究学会 (IADR) 総会は去る3月14日ワシントン市での IADR 理事会において正式に 1980 年 6 月 5 日から 8 日まで大阪市ロイヤルホテルで開催されることが決定した (上記)。

2. 大会の企画決定は本部の Organizing Committee が行なうが、Chairman には河村教授が決定した。

尚、Organizing Committee 1980 のメンバーはつぎの通りである。

DR. Beagrie, DR. Loe, DR. Onishi, DR. Takuma, DR. Green,
DR. Kawamura.

なお、去る3月18日の理事会で河村教授はIADRのBoard of Director
に選出された(上記)。

大会の準備は組織委員会でおこなう。これは日本歯科医学会14分科会お
よび各歯科大学より推薦された方々を加え、総計50名で構成されている。

なお、組織委員会のもとに実行委員会をおき、現在すでに活動をはじめて
いる。

実行委員会開催

- | | | |
|-----|-------------|---------|
| 第1回 | 昭和52年8月18日 | 阪大歯学部 |
| 第2回 | 昭和52年12月16日 | 大阪歯科大 |
| 第3回 | 昭和53年4月7日 | ロイヤルホテル |

3. 大会においてサテライトミーティングをおこなうことについてワシントン
市でのIADR理事会で承認をえた。

また、日本国内向けの講演会、シンポジウムおよびテーブルクリニックな
どの企画を予定しているので、IADR会員はもとより非会員の方々や臨床歯
科医の多数の方々に参加されるよう切望している。